

## ポイ捨て防止条例の見直しを！



大谷 弥生



動画配信中



海洋プラスチックごみ問題に対する国の動きを鑑み、平成7年に制定した足利市空き缶等のポイ捨て防止に関する条例を見直すべきと考えるがどうか。

**生活環境部長**

条例改正後、不法投棄防止パトロールに加え、ボランティアとの協働による清掃活動や、子どもたちへの環境教育等に力を入れている。条例改正の必要性を検討しつつ、これまでの活動や市民とのつながりを大切に、川は海への入り口という市民意識を高め、さらなる美しいまち足利を目指し、今後も努力していく。

**◆再生可能エネルギー発電設備**


太陽光発電設備が管理されずに放置されることを防ぐため、災害時及び廃止後の措置に充てる費用を計画的に積み立てることを事業者に義務づけできないか。

**都市建設部長**

国では、発電事業者による発電設備の廃棄等のための費用の積み立てを担保するための方策として、売電収入から積立金を差し引く制度の創設を検討している。このような国の動きや近隣自治体の取り組みを参考にし、引き続き適宜適正な対応に努めていく。

## 迷惑行為を防止する条例の制定



平塚 茂



動画配信中



住民同士のトラブルを防ぐため、近隣住宅からの落ち葉やペットの鳴き声、ごみ屋敷などの迷惑行為を総合的に防止する条例を制定すべきと考えるがどうか。

**生活環境部長**

市が所管する事案の場合、担当職員が関係法令等に基づき当事者の立場を尊重しながら、解決に向けた対応や迷惑行為の原因者に対する指導を行っている。条例の制定については、他市の状況等を踏まえ、今後の研究課題としたい。

**◆効果的な防災教育の推進**


大地震や台風等による自然災害から大切な命を守るため、子どもたちへの防災教育の取り組みが重要と考えるが、その効果的な推進について考えを聞きたい。

**教育長**

現在、子どもたちはどのように災害が起こり、被害が広がるのかという災害に対する知識を学んだり、訓練を通して災害時にどのような行動をとるべきなのかを学んでいる。子どもたちが災害に直面した際、ためらいなく行動を起こして自分の命を守るができるよう、今後も地域の方々や関係機関等の協力を得ながら、防災教育の効果的な推進に一層努めていく。

## 映像のまち構想について問う！



須田 瑞穂



動画配信中



映像美術会社が建設した渋谷スクランブル交差点のオーブンセットは、映像のまち構想を大きく飛躍させるための起爆剤になると考えるがどうか。

**市長**

映像のまち構想はこつこつと息長く続けていくことが重要であり、その成果が今日の話題性のある取り組みにつながっていると考える。引き続きさまざまな機会を捉えて市民の皆様にご丁寧な説明をし、またご意見を取り入れながら、同構想を自信を持って進めていきたい。

**◆地元住民の反対運動**


民間大規模産業廃棄物最終処分場建設計画に反対する地元住民の運動に対し、5万3千231名もの方々が賛同され、署名運動に協力されたが、こうした市民の思いを市長はどのように捉えているのか。

**市長**

反対署名を通じ、地元をはじめとする市民皆様の関心の高さを改めて強く認識し、非常に重く受けとめている。この署名を機に、これまで以上に市民や地元の皆様と一体となり、市議会の力もお借りしながらこの問題にきちんと反対の姿勢で向き合っていきたいと考えている。